

第 58 回 日本労働衛生工学会
第 39 回 作業環境測定研究発表会

プログラム
2018

期 日：平成 30 年 11 月 14 日(水)～16 日(金)
会 場：富山国際会議場（大手町フォーラム）
富山市大手町 1-2 TEL 076-424-5931
・ A 会 場 = 3 階「メインホール」
・ B 会 場 = 2 階「202・203・204 会議室」
・ 展示会場 = 2 階「205 会議室 + 201 会議室」
・ ランチョンメーカープレゼンテーション = 2 階「特別会議室」
交流集会：富山第一ホテル
会 場 富山市桜木町 10-10 TEL 076-442-4411

第 58 回 日本労働衛生工学会 実行委員長

田 村 三樹夫 (一財)上越環境科学センター

第 39 回 作業環境測定研究発表会 実行委員長

永 井 信 哉 (公社)日本作業環境測定協会 北信越支部長
株式会社 N S S

主 催：日本労働衛生工学会
<http://www.joha-org.jp/>
(公社)日本作業環境測定協会
<http://www.jawe.or.jp/>
後 援：厚生労働省
協 賛：(公社)日本産業衛生学会
(公社)日本空気清浄協会

実行委員会 委員

第 58 回 日本労働衛生工学会

実行委員長	田村三樹夫	(一財)上越環境科学センター
実行委員	伊藤 昭好	産業医科大学 産業保健学部
	小野真理子	(独)労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所
	久保田裕仁	興研(株)
	小西 淑人	(株)エフアンドエーテクノロジー研究所
	齊藤 宏之	(独)労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所
	鷹屋 光俊	(独)労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所
	高山 正	高山産業衛生事務所
	田吹光司郎	(一財)西日本産業衛生会 環境測定センター 大分事業部
	中村 憲司	(独)労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所
	宮内 博幸	産業医科大学 産業保健学部
	明星 敏彦	産業医科大学 産業生態科学研究所
	村田 克	早稲田大学理工学術院
	森 洋	秋田環境測定センター(株)
	藪田 十司	北里大学 医療衛生学部
	山田 憲一	中央労働災害防止協会

第 39 回 作業環境測定研究発表会

実行委員長	永井 信哉	(公社)日本作業環境測定協会 北信越支部長 (株)N S S
実行委員	内納 大典	(一財)上越環境科学センター
	金井 優司	日本海環境サービス(株)
	唐澤 誠	(株)コーエキ
	佐竹 宏介	ゼオンノース(株)
	高島 強	日重環境(株)
	刀根 尚行	(株)環研
	福島 博文	(株)安全性研究センター高岡
	前田 清隆	(株)安全性研究センター
	若美 勝則	アースコンサル(株)

参加者へのご案内

1. 日本労働衛生工学会の参加費は、
会員（正会員・学生会員）5,000円、非会員（学生を含む）12,000円（いずれも抄録集代を含む）です。
2. 作業環境測定研究発表会の参加費は、
会員5,000円、非会員12,000円（いずれも抄録集代を含む）です。
3. 発表をされる演者は、参加受付で参加費をお支払い後、プログラムに示されたセッション時間の30分前までに発表会場前の演者受付を必ず済ませてから、発表会場にお入りください。
4. 発表はPC—プロジェクターで行われます。
一般演題の発表時間は1題20分（15分発表，質疑応答5分），メーカープレゼンテーションは15分（質疑応答の時間はありません）です。

平成30年8月

日本労働衛生工学会
第58回 日本労働衛生工学会実行委員会
(公社)日本作業環境測定協会
第39回 作業環境測定研究発表会実行委員会

(凡例) このプログラム中の演題分類記号について
A……………A会場における発表
B……………B会場における発表
K……………日本労働衛生工学会
N……………日本作業環境測定協会；一般研究発表
N J……………日本作業環境測定協会；事例発表
M……………メーカープレゼンテーション
TM……………特設会場におけるランチョン
メーカープレゼンテーション

日 程 表

期日	予定時間	A 会 場 (3階「メインホール」)	B 会 場 (2階「202・203・204 会議室」)	展示 会場
11 月 14 日 (水)	9:00～	受 付 開 始 (2階)		関連機器の展示 (2階「205 会議室 + 201 会議室」)
	10:00～11:00	ANJ-01・AN-02・ANJ-03	BNJ-01・BK-02・BK-03・BK-04 (～11:20)	
	11:00～12:00	AK-04・AK-05・AK-06	(11:20～) 日本労働衛生工学会 現場報告	
	12:00～13:00	(昼食・休憩)		
	(12:10～12:55)	ランチョンメーカープレゼンテーション TM-01・TM-02・TM-03 (2階「特別会議室」)		
	13:00～14:00	作業環境測定研究発表会 技術講演 1	BK-05・BK-06・BK-07	
	14:00～15:00	ANJ-07・AK-08・AK-09	BK-08・BNJ-09・BN-10	
15:00～16:45	AM-04・AM-05・AM-06・AM-07・ AM-08・AM-09・AM-10	BM-11・BM-12・BM-13・BM-14・ BM-15・BM-16 (～16:30)		
11 月 15 日 (木)	9:00～10:00	ANJ-10・ANJ-11・ANJ-12	BK-11・BK-12・BK-13	—
	10:00～11:00	ANJ-13・AK-14・AK-15	BK-14・BK-15・BN-16	
	11:00～12:00	作業環境測定研究発表会 技術講演 2	日本労働衛生工学会 基礎講座 1	
	12:00～13:00	(昼食・休憩)		
	13:00～16:30	日本労働衛生工学会・ 作業環境測定研究発表会 共同シンポジウム	—	
	17:30～19:30	交流集会 (富山第一ホテル 3階「白鳳」)		
11 月 16 日 (金)	9:00～ 9:30	作業環境測定研究発表会 特別講演	BK-17・BK-18・BK-19	関連機器の展示
	9:40～10:00	AN-16		
	10:00～11:00	AK-17・AK-18・ANJ-19	BK-20・BK-21・BK-22	
	11:00～12:00	ANJ-20・ANJ-21・AN-22	日本労働衛生工学会 基礎講座 2	
	12:00～13:00	(昼食・休憩)		
	13:00～14:00	ANJ-23・AK-24・AN-25	BK-23・BK-24・BK-25	
	14:00～15:00	AN-26・AN-27・AN-28	BK-26・BK-27・BK-28	
	15:00～16:20	AN-29・ANJ-30・ANJ-31・AK-32	BK-29・BK-30・BK-31・BK-32	

- (注) 1. 「—」と表記されている会場には、立ち入りできません。
 2. ランチョンメーカープレゼンテーションでは、軽食(無料)をご用意しておりますので、ぜひご来場ください。14日9:10より、チケットを受付にて配布いたします(先着順)。

演題一覧

11月14日(水)

予定時間	A 会 場	B 会 場
10:00～11:00	<p>ANJ-01 ローボリウムエアサンプラーの自社製作事例について ○小山英二</p> <p>AN-02 T60A20 後継ろ紙の吸湿性及びその課題について ○柿塚由華</p> <p>ANJ-03 個人サンプラーを活用した B 測定 of 検討 ○相澤和幸</p>	<p>BNJ-01 同一作業場における鉱物性粉じんの作業環境測定と結晶質シリカの個人ばく露測定の結果について ○谷口満美</p> <p>BK-02 VOC モニタを用いた細胞診標本作製過程の個人ばく露測定事例の報告 ○永井大悟</p> <p>BK-03 測位システムを活用したばく露位置モニタリングの試み ○宮内祐介</p>
11:00～12:00	<p>AK-04 ナノ粒子用パーソナルサンプラを用いたナノ粒子製造環境中の作業員個人ばく露評価 ○古内正美</p> <p>AK-05 市販ガス検知管の粒子捕集特性評価とガス・粒子共存物質同時捕集の可能性の検討 ○畑 光彦</p> <p>AK-06 作業環境測定用捕集剤から見る有機溶剤脱着率への影響 ○安彦泰進</p>	<p>BK-04 XBeeを用いたタイムスタディの試みとその応用 ○衛藤憲人</p> <p>(11:20～)</p> <p>【日本労働衛生工学会 現場報告】 SDSが作業環境管理に果たす役割 ○土屋真知子</p>
(12:10～12:55)	ランチョンメーカープレゼンテーション (2階「特別会議室」) TM-01 ○柴田科学(株) TM-02 ○(株)ガステック TM-03 ○(株)アイデック	
13:00～14:00	<p>【作業環境測定研究発表会 技術講演1】 自社測定 of 必要性和これからの企業におけるハイジニストの役割—自社測定事業場から見た作業環境測定におけるデザイン及びサンプリングの留意点— ○大野 満</p>	<p>BK-05 溶接ヒュームに対する曝露濃度測定のためのサンプリング方法に関する基礎的研究 ○酒井なつ美</p> <p>BK-06 含有する金属元素に着目した作業環境中における溶接ヒュームのばく露測定に関する研究 ○加藤伸之</p> <p>BK-07 高濃度 of アセトン共存下を想定したDNPH パッシブサンプラーによるホルムアルデヒド分析への影響 ○井上直子</p>
14:00～15:00	<p>ANJ-07 固相抽出カートリッジの抽出用治具の紹介 ○神谷健一郎</p> <p>AK-08 作業環境中のカーボンブラック粒子の測定法に関する基礎的研究 ○田實留奈</p> <p>AK-09 作業環境中の酸化チタン粒子の結晶構造などに対する定量分析条件に関する研究 ○森田晶子</p>	<p>BK-08 オープンフェイス型ホルダーの面速度は捕集濃度等に影響しないのか ○藪田十司</p> <p>BNJ-09 3D プリンター等における粉じん発生状況の把握とその対策 ○坂中将嗣</p> <p>BN-10 レスピラブルα-石英の標準試料作成方法の検討 ○弦本忠嗣</p>
15:00～16:45	メーカープレゼンテーション	
	<p>AM-04 ○昭和電機(株)</p> <p>AM-05 ○理研計器(株)</p> <p>AM-06 ○ラボテック(株)</p> <p>AM-07 ○光明理化学工業(株)</p> <p>AM-08 ○秋田環境測定センター(株)</p> <p>AM-09 ○(株)日本ハイソフト</p> <p>AM-10 ○(株)エイビス</p>	<p>BM-11 ○日本カノマックス(株)</p> <p>BM-12 ○(株)ウエスト</p> <p>BM-13 ○東京ダイレック(株)</p> <p>BM-14 ○(株)重松製作所</p> <p>BM-15 ○トランステック(株)</p> <p>BM-16 ○スリーエムジャパン(株)</p>

11月15日(木)

予定時間	A 会 場	B 会 場
9:00～10:00	<p>ANJ-10 トリクロロエチレン洗浄作業場の環境改善事例（ハンディーVOC計を用いた発生源対策） ○松本 巖</p> <p>ANJ-11 トリクロロエチレン洗浄作業場の改善事例 ○小笠原雄太</p> <p>ANJ-12 グラビアコーティング作業場における作業環境改善事例 ○内納大典</p>	<p>BK-11 「しよ脳」捕集測定法の検討 ○鈴木義浩</p> <p>BK-12 作業環境中 2,4-ジクロロフェノキシ酢酸の測定・分析手法の検討 ○蛭田多美</p> <p>BK-13 ビニルトルエンの測定手法に関する検討 ○中村亜衣</p>
10:00～11:00	<p>ANJ-13 騒音作業場の実態と管理の変遷—平成12年以前と現在との比較を中心に— ○張江正信</p> <p>AK-14 冬季建屋密閉による集塵機能力低下の対応策 ○片岡修治</p> <p>AK-15 CFD解析と実験室実験による外付け式スロット型フードの開口面まわりの気流解析 ○田 博源</p>	<p>BK-14 エチリデンノルボルネンの測定手法に関する検討 ○吉野友美</p> <p>BK-15 作業環境中 1,4,5,6,7,7-ヘキサクロロビシクロ[2,2,1]-5-ヘプテン-2,3-ジカルボン酸（別名クロレンド酸）分析法の検討 ○長谷川潔</p> <p>BN-16 作業環境中 1,3-ビス[(2,3-エポキシプロピル)オキシ]ベンゼンの測定・分析手法に関する検討 ○荒井久美子</p>
11:00～12:00	<p>【作業環境測定研究発表会 技術講演2】 作業環境測定における分析の技術的課題 ○宮部寛志</p>	<p>【日本労働衛生工学会 基礎講座1】 結晶質シリカの生体影響について——最近の知見—— ○大槻剛巳</p>
13:00～16:30	<p>【共同シンポジウム】 第1部 労働環境における工学的対策の変遷と今後の展望 ・司 会：藪田十司 1. 行政の立場から ○西田和史 2. 専門家の立場から ○保利 一 3. 労働衛生コンサルタントの立場から ○岩崎 毅 第2部 個人サンプラーを用いた作業環境測定をめぐる——今後の展開—— ・司 会：鷹屋光俊 ○パネリスト：高島強・廣瀬隆穂・保利一・山室堅治・西田和史</p>	

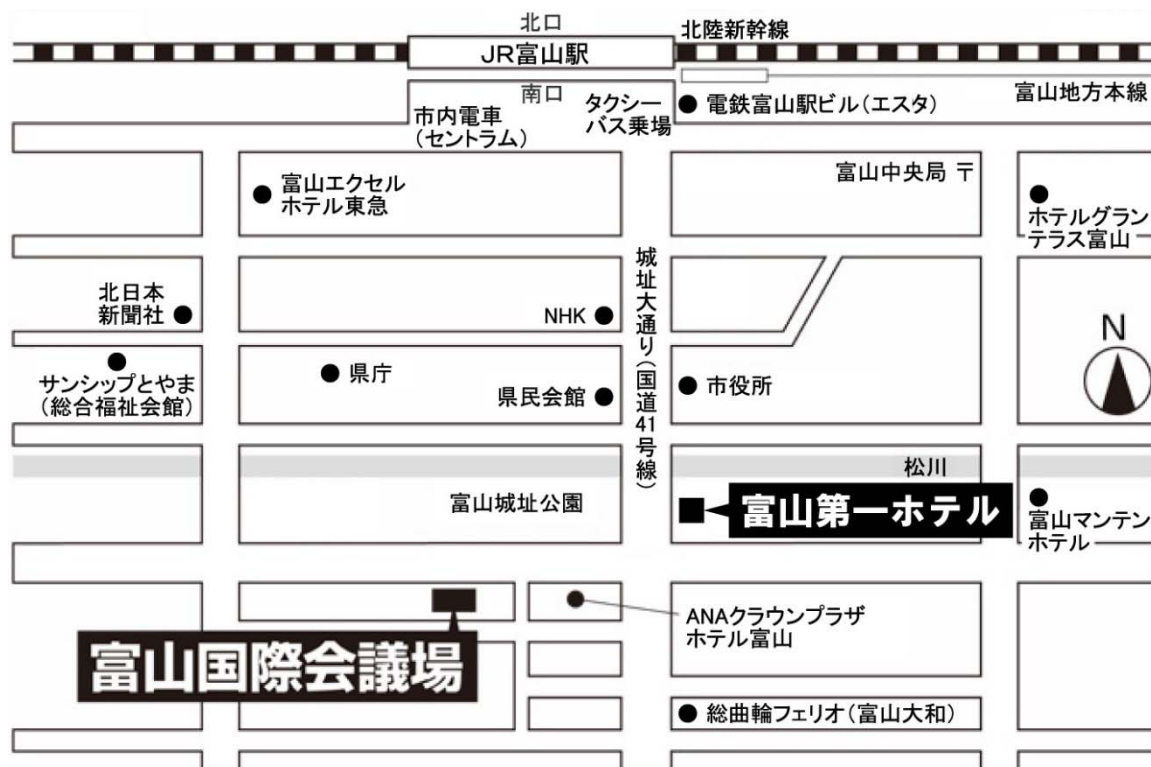
11月16日(金)

予定時間	A 会 場	B 会 場
9:00～10:00	<p>【作業環境測定研究発表会 特別講演】 化学物質管理, 作業環境測定を巡る労働衛生行政の動向 ○西田和史</p> <hr/> <p>(9:40～) AN-16 有機溶剤作業場における AB 測定による作業環境測定と簡易測定を含む個人サンプラー測定との比較 ○大場恵史</p>	<p>BK-17 個人サンプラーに用いる粉じん捕集フィルターの粒子捕集効率評価 ○山田 丸</p> <p>BK-18 位相差顕微鏡対物レンズ (DLL, DM, BM) を併用した位相差・分散顕微鏡によるアスベスト, RCF 分析時の観察精度向上について ○小西淑人</p> <p>BK-19 イオン液体を用いた気中アスベスト濃度測定 (A-SEM 法) のフィルター試料の前処理方法 ○田吹光司郎</p>

11月16日(つづき)

予定時間	A 会 場	B 会 場
10:00～11:00	<p>AK-17 異性体を含む混合有機溶剤の気液平衡関係 ○平松 翔</p> <p>AK-18 混合有機溶剤作業における労働衛生管理のための気液平衡関係の活用 ○楫山優樹</p> <p>ANJ-19 特定化学物質障害予防規則等の改正 三酸化ニアンチモン取扱い作業場の実態調査 ○松本尚士</p>	<p>BK-20 溶接作業場の粉じん形状による成分の相違について(第1報) ○黒木孝一</p> <p>BK-21 RCF繊維のサイズがファイバーモニターF-1K型を用いた測定に与える影響に関する研究 ○荒川大悟</p> <p>BK-22 炭素系ナノマテリアルの粒径分布と凝集状態の観察 ○小野真理子</p>
11:00～12:00	<p>ANJ-20 溶接作業場におけるマンガンの作業環境測定事例 ○廣瀬隆徳</p> <p>ANJ-21 塗膜除去作業に関する分析、及び測定事例 ○後藤 聡</p> <p>AN-22 半導体センサーを用いたばく露濃度測定 ○上野 浩</p>	<p>【日本労働衛生工学会 基礎講座2】 作業環境マネジメント入門——マーケティングからコンサルティングまで—— ○田吹光司郎</p>
13:00～14:00	<p>ANJ-23 法定対象物質以外の測定事例(定量的手法を用いたリスクアセスメント実施事例) ○喜多見大介</p> <p>AK-24 国連 GHS 勧告区分によるハザードバンドと職業性ばく露限界値の関係 ○中村桃華</p> <p>AN-25 実験室等におけるばく露推計モデルによるリスクアセスメントのための有機溶剤発生量の検討(第2報) ○牛澤浩一</p>	<p>BK-23 光散乱方式による粉じん相対濃度測定に及ぼす粗大粒子の影響 ○中村憲司</p> <p>BK-24 ITO ターゲット切削作業工程における個人曝露濃度測定方法の検討 ○小山武尊</p> <p>BK-25 光触媒を溶射した吸着材による有機溶剤蒸気の吸着および分解特性 ○秋田 糧</p>
14:00～15:00	<p>AN-26 メタクリル酸のばく露濃度測定法の検討 ○小川善弘</p> <p>AN-27 MIBKの生物学的モニタリング結果から得られる作業者のばく露について ○大久保友太朗</p> <p>AN-28 作業環境中メタクリル酸-2,3-エポキシプロピルの測定・分析法に関する検討 ○川澄八重子</p>	<p>BK-26 受動喫煙防止のための喫煙室改善について ○角田由紀</p> <p>BK-27 VDT作業に対する対光反応解析装置等を用いた眼疲労の評価に関する研究 ○石橋洋行</p> <p>BK-28 電子式 WBGT 測定器の JIS 規格化の経緯と、今後の課題 ○齊藤宏之</p>
15:00～16:20	<p>AN-29 1-ブロモプロパンの測定手法の開発 ○中島賢邦</p> <p>ANJ-30 作業環境改善事例 — 1-ブロモプロパン取扱い作業場及びリフラクトリーセラミックファイバー取扱い作業場について— ○朝井大介</p> <p>ANJ-31 同一粉じん作業場における長期にわたる作業環境改善とその効果について ○木水佳芳里</p> <p>AK-32 小型除じん装置の集じん性能測定の実験室での解析 ○明星敏彦</p>	<p>BK-29 シート状サンプラーを用いた作業時の保護手袋内濃度測定結果について ○藤田ゆかり</p> <p>BK-30 有機溶剤取扱い作業場における作業用保護手袋の着用に関する実態調査について ○秋野健一</p> <p>BK-31 熱線型半導体式 VOC モニタを用いた混合有機溶剤を取り扱う作業場での成分毎の蒸気濃度推定に関する検討(その1) ○吉栄康城</p> <p>BK-32 熱線型半導体式 VOC モニタを用いた混合有機溶剤を取り扱う作業場での成分毎の蒸気濃度推定に関する検討(その2) ○吉栄康城</p>

会場案内図

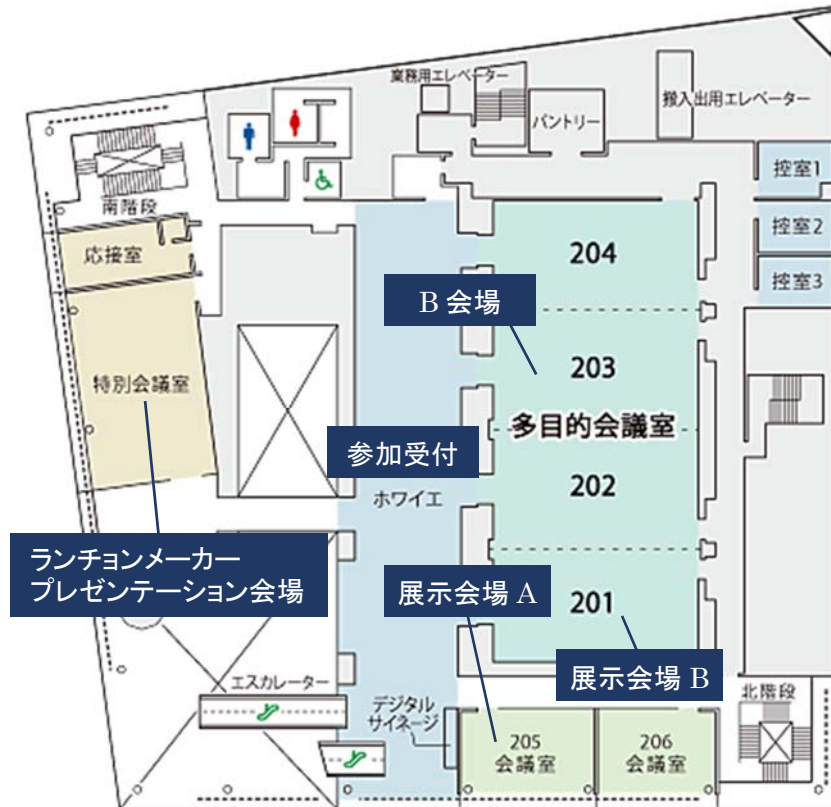


発表・展示会場： 富山国際会議場（大手町フォーラム）
 （11月14～16日） 富山市大手町 1-2 TEL 076-424-5931

交流集会会場： 富山第一ホテル
 （11月15日） 富山市桜木町 10-10 TEL 076-442-4411

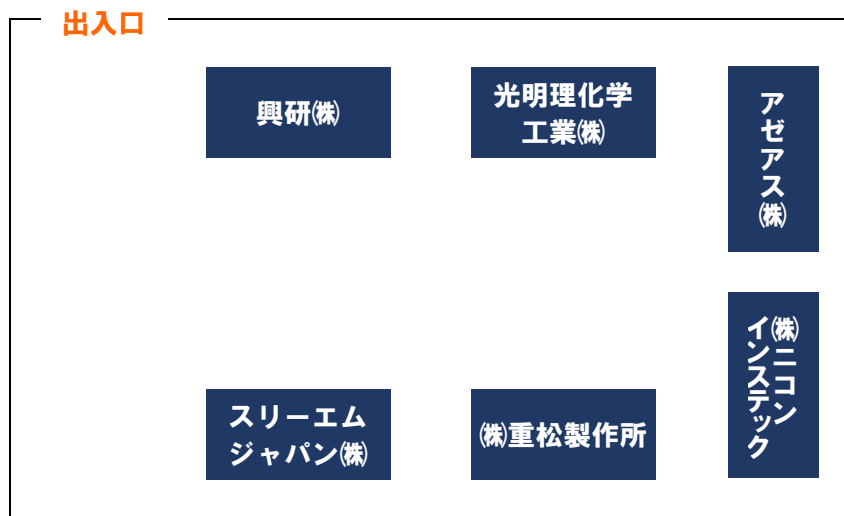
会場（富山国際会議場）内略図

- ◎参加受付：2階
- ◎A会場・共同シンポジウム会場：3階「メインホール」
- ◎B会場：2階「202・203・204会議室」
- ◎展示会場：2階「205会議室+201会議室」
- ◎ランチョンメーカープレゼンテーション会場：2階「特別会議室」
- ◎交流集会：富山第一ホテル 3階「白鳳」

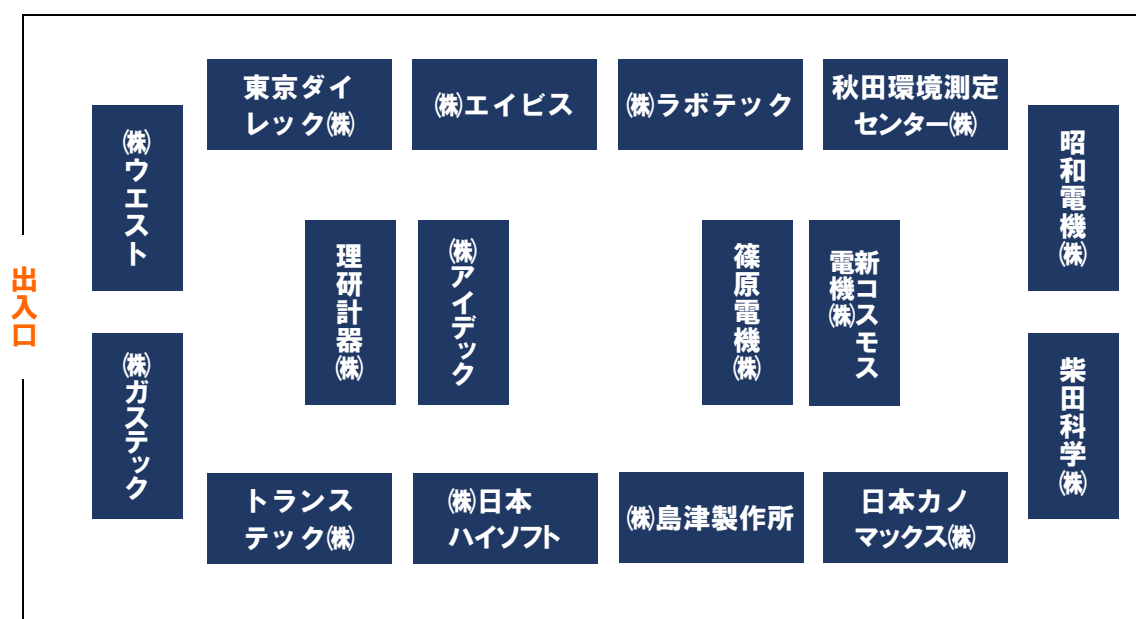


展示会場レイアウト略図

◎展示会場 A : 2階 「205 会議室」



◎展示会場 B : 2階 「201 会議室」



会場区分

期日	2階	A 会場 3階「メインホール」	B 会場 2階「202～204 会議室」	展示会場 2階「205+ 201 会議室」	2階 控室	3階 控室	2階 206 会議室
11月14日(水)	参加 受付	演者・座長受付(会場前) ○一般発表&メーカー プレゼンテーション ○研究発表会 技術講演1	演者・座長受付(会場前) ○一般発表&メーカー プレゼンテーション ○工学会 現場報告	○展示 (9:30～ 17:00)	シン ポジ スト ・ 講 師 ・ 来 賓 控 室	作 業 環 境 測 定 研 究 發 表 會 事 務 局 控 室	日 本 勞 働 衛 生 工 學 會 事 務 局 控 室
11月15日(木)		演者・座長受付(会場前) ○一般発表 ○研究発表会 技術講演2	演者・座長受付(会場前) ○一般発表 ○工学会 基礎講座1 ○工学会 総会	○展示 (9:00～ 16:40)			
		○工学会・研究発表会 共同シンポジウム	交流集会：富山第一ホテル				
11月16日(金)		演者・座長受付(会場前) ○一般発表 ○研究発表会 特別講演	演者・座長受付(会場前) ○一般発表 ○工学会 基礎講座2	○展示 (9:00～ 13:00)			

時間	分類	番号	標題・演者・所属	座長 ^{※所属}
10:00～10:20	ANJ (兵庫支部 推薦演題)	01	ローボリウムエアサンプラーの自社製作事例について ○小山英二 (株)環境ソルテック	本間直人 ^{※1}
10:20～10:40	AN (中国支部 推薦演題)	02	T60A20 後継ろ紙の吸湿性及びその課題について ○柿塚由華, 高橋 淳, 木島大介, 淵 壮司, 片山雅之, 枝本直樹, 山岡和寿 中央労働災害防止協会 中国四国安全衛生サービスセンター	
10:40～11:00	ANJ (北海道支部 推薦演題)	03	個人サンプラーを活用したB測定の検討 ○相澤和幸, 山下哲央 (公財)北海道労働保健管理協会	
11:00～11:20	AK	04	ナノ粒子用パーソナルサンプラを用いたナノ粒子製造環境中の作業者個人ばく露評価 ○古内正美 ¹⁾ , 畑 光彦 ¹⁾ , 東久保一朗 ²⁾ , 大城保夫 ²⁾ , 鹿島聡子 ²⁾ ¹⁾ 金沢大学, ²⁾ 中央労働災害防止協会	庄司 寛 ^{※2}
11:20～11:40	AK	05	市販ガス捕集管の粒子捕集特性評価とガス・粒子共存物質同時捕集の可能性の検討 ○畑 光彦 ¹⁾ , 古内正美 ¹⁾ , 東久保一朗 ²⁾ , 今中努志 ³⁾ , 鈴木義浩 ⁴⁾ , 中村亜衣 ⁵⁾ , 山崎正彦 ⁶⁾ ¹⁾ 金沢大学, ²⁾ 中央労働災害防止協会, ³⁾ ジーエルサイエンス(株), ⁴⁾ 柴田科学(株), ⁵⁾ (株)ガステック, ⁶⁾ 光明理化学工業(株)	
11:40～12:00	AK	06	作業環境測定用捕集剤から見る有機溶剤脱着率への影響 ○安彦泰進 (独)労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所	
12:00～13:00	昼食・休憩			
ランチョンメーカープレゼンテーション(2階「特別会議室」)				
12:10～12:25	TM	01	エチレンオキsid用チューブ・防爆ミニポンプ紹介 ○小島謙太郎 柴田科学(株)	角元利彦 ^{※3}
12:25～12:40	TM	02	リスクアセスメントの実施に役立つ簡易測定機器のご紹介 ○高橋亮太 (株)ガステック	
12:40～12:55	TM	03	IFV Pro 多層サンプラーと Pocket Pump TOUCH スマートフォンによる遠隔操作のご紹介 ○田中進太郎 (株)アイデック	

※1. (株)テトラス

2. 秋田環境測定センター(株)

3. (公社)日本作業環境測定協会

時間	分類	番号	標題・演者・所属	座長 ^{※所属}
10:00～10:20	BNJ	01	同一作業場における鉱物性粉じんの作業環境測定と結晶質シリカの個人ばく露測定の結果について ○谷口満美 ¹⁾ 、小野 司 ¹⁾ 、市後崎隆則 ¹⁾ 、田口信康 ¹⁾ 、田吹光司郎 ^{1, 2)} ¹⁾ (一財)西日本産業衛生会 環境測定センター 北九州事業部, ²⁾ (一財)西日本産業衛生会 環境測定センター 大分事業部	小野真理子 ^{※4}
10:20～10:40	BK	02	VOC モニタを用いた細胞診標本作製過程の個人ばく露測定事例の報告 ○永井大悟 ¹⁾ 、中村亜衣 ¹⁾ 、海福雄一郎 ¹⁾ 、有本雄美 ¹⁾ 、片桐裕史 ²⁾ 、古田玲子 ²⁾ ¹⁾ (株)ガステック、 ²⁾ 北里大学	
10:40～11:00	BK	03	測位システムを活用したばく露位置モニタリングの試み ○宮内祐介 ¹⁾ 、竹内靖人 ¹⁾ 、大塚俊介 ²⁾ 、中山綾香 ³⁾ 、三川正治 ⁴⁾ 、宮本 修 ⁵⁾ 、海福雄一郎 ²⁾ 、高木幸二郎 ²⁾ 、中山正樹 ³⁾ 、西野入 修 ¹⁾ 、圓藤吟史 ¹⁾ ¹⁾ 中央労働災害防止協会、 ²⁾ (株)ガステック、 ³⁾ 新コスモス電機(株)、 ⁴⁾ ホシデン精工(株)、 ⁵⁾ ホシデン(株)	
11:00～11:20	BK	04	XBee を用いたタイムスタディの試みとその応用 ○衛藤憲人 ¹⁾ 、宮内博幸 ²⁾ 、中野真規子 ³⁾ ¹⁾ 東海大学工学部医用生体工学科、 ²⁾ 産業医科大学産業保健学部環境マネジメント学科、 ³⁾ 慶應義塾大学医学部衛生学公衆衛生学教室	森 洋 ^{※2}
時間	内 容			
11:20～12:00	<p style="text-align: center;">【日本労働衛生工学会 現場報告】</p> <p style="text-align: center;">SDSが作業環境管理に果たす役割</p> <p style="text-align: center;">○土屋真知子 (土屋真知子コンサルタントオフィス) ・司 会：森 洋 (秋田環境測定センター(株))</p>			
12:00～13:00	昼食・休憩			

※4. (独)労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所

時間	内 容		
13:00～14:00	<p align="center">【作業環境測定研究発表会 技術講演1】</p> <p align="center">自社測定の必要性とこれからの企業におけるハイジニストの役割 ——自社測定事業場から見た作業環境測定におけるデザイン及びサンプリングの留意点——</p> <p align="center">○大野 満 (三菱重工業(株)神戸造船所 三菱神戸病院 健康管理グループ) ・司 会 : 飛鳥 滋 ((公社)日本作業環境測定協会)</p>		
時間	分類	番号	座長 [※] 所属
14:00～14:20	ANJ	07	張江正信 ^{※5}
固相抽出カートリッジの抽出用治具の紹介 ○神谷健一郎 日本空調サービス(株)			
14:20～14:40	AK	08	
作業環境中のカーボンブラック粒子の測定法に関する基礎的研究 ○田實留奈 ¹⁾ , 村田 克 ²⁾ ¹⁾ 早稲田大学大学院創造理工学研究科, ²⁾ 早稲田大学理工学術院			
14:40～15:00	AK	09	金井優司 ^{※6}
作業環境中の酸化チタン粒子の結晶構造などに対する定量分析条件に関する研究 ○森田晶子 ¹⁾ , 村田 克 ²⁾ ¹⁾ 早稲田大学大学院創造理工学研究科, ²⁾ 早稲田大学理工学術院			
15:00～15:15	AM	04	
安全で安心して働ける作業環境作りのご提案 ○富村大智 昭和電機(株)			
15:15～15:30	AM	05	松本 巖 ^{※7}
化学物質のリスクアセスメントに活用可能なガス検知器のご紹介 ○寺内靖裕 理研計器(株)			
15:30～15:45	AM	06	
作業環境測定(有機溶剤)の省力化について—自動化装置の導入メリット— ○元木 宏 ラボテック(株)			
15:45～16:00	AM	07	松本 巖 ^{※7}
作業環境測定等に使用する製品紹介 ○田中政輝 光明理化学工業(株)			
16:00～16:15	AM	08	
作業環境測定報告書作成システム「環境 Office」の紹介 ○原子 正 秋田環境測定センター(株)			
16:15～16:30	AM	09	松本 巖 ^{※7}
化学物質のリスク対策ソフト ○福田大典 (株)日本ハイソフト			
16:30～16:45	AM	10	
環境検査システム 新バージョンのご紹介 ○仲村圭佐 (株)エイビス			

※5. (公財)神奈川県予防医学協会 6. 日本海環境サービス(株) 7. (一財)全日本労働福祉協会

時間	分類	番号	標題・演者・所属	座長 ^{※所属}
13:00～13:20	BK	05	溶接ヒュームに対する曝露濃度測定のためのサンプリング方法に関する基礎的研究 ○酒井なつ美 ¹⁾ , 高野萌実 ¹⁾ , 村田 克 ²⁾ ¹⁾ 早稲田大学大学院創造理工学研究科, ²⁾ 早稲田大学理工学術院	中村憲司 ^{※8}
13:20～13:40	BK	06	含有する金属元素に着目した作業環境中における溶接ヒュームのばく露測定に関する研究 ○加藤伸之, 小嶋 純, 鷹屋光俊 (独) 労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所	
13:40～14:00	BK	07	高濃度のアセトン共存下を想定した DNPH パッシブサンプラーによるホルムアルデヒド分析への影響 ○井上直子, 鷹屋光俊 (独) 労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所	
14:00～14:20	BK	08	オープンフェイス型ホルダーの面速度は捕集濃度等に影響しないのか ○藪田十司 北里大学医療衛生学部健康科学科衛生管理学	鷹屋光俊 ^{※8}
14:20～14:40	BNJ (九州 支部 推薦 演題)	09	3D プリンター等における粉じん発生状況の把握とその対策 ○坂中将嗣 (株) 微研テクノス	
14:40～15:00	BN (九州 支部 推薦 演題)	10	レスピラブル α -石英の標準試料作成方法の検討について ○弦本忠嗣, 河野光雄, 槌田季世, 岡 光一, 田吹光司郎 (一財) 西日本産業衛生会 環境測定センター 大分事業部	
15:00～15:15	BM	11	マスクフィットテスターのご紹介 ○今岡明斉 日本カノマックス(株)	坂中将嗣 ^{※9}
15:15～15:30	BM	12	「計数分析用トレーニングスライド」及び「水循環式無振動ドリル(水すまし AT III型)」のご紹介 ○小西高之 (株) ウエスト	
15:30～15:45	BM	13	オイルミスト計測器の紹介 ○内山裕哉 東京ダイレック(株)	
15:45～16:00	BM	14	化学防護手袋について ○小林あきの (株) 重松製作所	弦本忠嗣 ^{※10}
16:00～16:15	BM	15	定量的フィットテストのご紹介 ○福島颯太 トランステック(株)	
16:15～16:30	BM	16	3M パッシブサンプラーの紹介 ○傳田郁夫 スリーエムジャパン(株)	

※8. (独) 労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所

9. (株) 微研テクノス 10. (一財) 西日本産業衛生会 環境測定センター 大分事業部

時間	分類	番号	標題・演者・所属	座長 ^{※所属}
9:00～9:20	ANJ (京葉 推薦)	10 支部 演題	トリクロロエチレン洗浄作業場の環境改善事例(ハンディーVOC計を用いた発生源対策) ○松本 巖, 柳川 稔 (一財)全日本労働福祉協会	相澤和幸 ^{※11}
9:20～9:40	ANJ (東北 推薦)	11 支部 演題	トリクロロエチレン洗浄作業場の改善事例 ○小笠原雄太, 八重樫友美, 小山正範 (公財)岩手県予防医学協会	
9:40～10:00	ANJ	12	グラビアコーティング作業場における作業環境改善事例 ○内納大典 (一財)上越環境科学センター	
10:00～10:20	ANJ	13	騒音作業場の実態と管理の変遷—平成12年以前と現在との比較を中心に— ○張江正信, 戸田敦夫, 太田 聡, 坂牧真盛, 加藤光孝, 山賀一典, 芦田敏文 (公財)神奈川県予防医学協会	福島博文 ^{※12}
10:20～10:40	AK	14	冬季建屋密閉による集塵機能力低下の対応策 ○片岡修治 古河電池(株)	
10:40～11:00	AK	15	CFD解析と実験室実験による外付け式スロット型フードの開閉面まわりの気流解析 ○田 博源 ¹⁾ , 伊藤大輝 ¹⁾ , 久保田裕仁 ²⁾ , 村田 克 ³⁾ ¹⁾ 早稲田大学大学院創造理工学研究科, ²⁾ 興研(株), ³⁾ 早稲田大学理工学術院	
時間	内 容			
11:00～12:00	<p align="center">【作業環境測定研究発表会 技術講演2】</p> <p align="center">作業環境測定における分析の技術的課題</p> <p align="center">○宮部寛志(立教大学理学部化学科) ・司 会: 齋藤 誠(株)テトラス</p>			

※11. (公財)北海道労働保健管理協会

12. (株)安全性研究センター高岡

時間	分類	番号	標題・演者・所属	座長 ^{※所属}
9:00～ 9:20	BK	11	「しょう脳」捕集測定法の検討 ○鈴木義浩, 福島靖弘, 丸島 渉, 霜村浩一, 榎本孝紀 柴田科学(株)	田村三樹夫 ^{※13}
9:20～ 9:40	BK	12	作業環境中 2,4-ジクロロフェノキシ酢酸の測定・分析手法の検討 ○蛭田多美, 豊崎耕作, 清水克敏, 白崎俊浩 (株)日立ハイテクサイエンス	
9:40～10:00	BK	13	ビニルトルエンの測定手法に関する検討 ○中村亜衣, 吉野友美, 海福雄一郎, 有本雄美 (株)ガステック	
10:00～10:20	BK	14	エチリデンノルボルネンの測定手法に関する検討 ○吉野友美, 中村亜衣, 海福雄一郎, 有本雄美 (株)ガステック	齊藤宏之 ^{※14}
10:20～10:40	BK	15	作業環境中 1,4,5,6,7,7-ヘキサクロロビシクロ[2,2,1]-5-ヘプテン-2,3-ジカルボン酸(別名クロレンド酸)分析法の検討 ○長谷川潔 ¹⁾ , 桑田大介 ¹⁾ , 高橋一誠 ¹⁾ , 奥村 悦子 ¹⁾ , 岡田孝之 ²⁾ , 山室堅治 ²⁾ , 有藤平八郎 ¹⁾ , 荒木明宏 ²⁾ , 川本俊弘 ²⁾ ¹⁾ (一財)産業保健協会, ²⁾ 中央労働災害防止協会 労働衛生調査分析センター	
10:40～11:00	BN	16	作業環境中 1,3-ビス[(2,3-エポキシプロピル)オキシ]ベンゼンの測定・分析手法の検討 ○荒井久美子 ¹⁾ , 岡田孝之 ¹⁾ , 山室堅治 ¹⁾ , 今中努志 ²⁾ , 川本俊弘 ¹⁾ ¹⁾ 中央労働災害防止協会 労働衛生調査分析センター, ²⁾ ジエールサイエンス(株)	
時間	内 容			
11:00～12:00	<p style="text-align: center;">【日本労働衛生工学会 基礎講座1】</p> <p style="text-align: center;">結晶質シリカの生体影響について——最近の知見——</p> <p style="text-align: center;">○大槻剛巳(川崎医科大学衛生学) ・司 会: 明星敏彦(産業医科大学産業生態科学研究所)</p>			

※13. (一財)上越環境科学センター

14. (独)労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所

時間	内 容
12:00～13:00	昼食・休憩
【第58回日本労働衛生工学会・第39回作業環境測定研究発表会 共同シンポジウム】	
13:00～14:45	第1部 労働環境における工学的対策の変遷と今後の展望 ・司 会：藪田十司（北里大学医療衛生学部健康科学科衛生管理学） 1. 行政の立場から ○西田和史（厚生労働省労働基準局労働安全衛生部化学物質対策課環境改善室） 2. 専門家の立場から ○保利 一（産業医科大学産業保健学部） 3. 労働衛生コンサルタントの立場から ○岩崎 毅（興研㈱労働衛生コンサルタント事務所） 4. 質疑応答
15:00～16:30	第2部 個人サンプラーを用いた作業環境測定をめぐって——今後の展開—— ・司 会：鷹屋光俊（(独)労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所） ○パネリスト：高島 強（日重環境㈱） 廣瀬隆穂（㈱近畿エコサイエンス） 保利 一（産業医科大学） 山室堅治（中央労働災害防止協会 労働衛生調査分析センター） 西田和史（厚生労働省）
17:30～19:30	富山第一ホテル（3階「白鳳」）

時間	内 容
12:00~12:30	日本労働衛生工学会 総会
12:30~13:00	昼食・休憩
13:00~16:30	
17:30~19:30	富山第一ホテル (3階「白鳳」)

時間	内 容			
9:00～ 9:30	<p align="center">【作業環境測定研究発表会 特別講演】</p> <p align="center">化学物質管理，作業環境測定を巡る労働衛生行政の動向</p> <p align="center">○西田和史（厚生労働省労働基準局労働安全衛生部化学物質対策課環境改善室） ・司 会：角元利彦（(公社)日本作業環境測定協会）</p>			
9:30～ 9:40	休憩			
時間	分類	番号	標題・演者・所属	座長 ^{※所属}
9:40～10:00	AN	16	有機溶剤作業場におけるAB測定による作業環境測定と簡易測定を含む個人サンプラー測定との比較 ○大場恵史，中村信幸，杉浦敦文 (株)東海分析化学研究所	鈴木治彦 ^{※15}
10:00～10:20	AK	17	異性体を含む混合有機溶剤の気液平衡関係 ○平松 翔 ¹⁾ ，石田尾 徹 ²⁾ ，樋上光雄 ²⁾ ，山本 忍 ²⁾ ，石松 維世 ²⁾ ，笛田由紀子 ²⁾ ，保利 一 ²⁾ ¹⁾ 産業医科大学産業保健学部環境マネジメント学科， ²⁾ 産業医科大学産業保健学部作業環境計測制御学	芦田敏文 ^{※16}
10:20～10:40	AK	18	混合有機溶剤作業における労働衛生管理のための気液平衡関係の活用 ○楫山優樹 ¹⁾ ，石田尾 徹 ²⁾ ，山本 忍 ²⁾ ，樋上光雄 ²⁾ ，石松 維世 ²⁾ ，笛田由紀子 ²⁾ ，保利 一 ²⁾ ¹⁾ 産業医科大学産業保健学部環境マネジメント学科， ²⁾ 産業医科大学産業保健学部作業環境計測制御学	
10:40～11:00	ANJ	19	特定化学物質障害予防規則等の改正 三酸化ニアンチモン取扱い作業場の実態調査 ○松本尚士，菊地 浩，中島 隆，東 久博，國谷幸弘，福田 昌宏 パナソニック健康保険組合 産業衛生科学センター	
11:00～11:20	ANJ	20	溶接作業場におけるマンガンの作業環境測定事例 ○廣瀬隆穂，枝廣政志 (株)近畿エコサイエンス	山室堅治 ^{※17}
11:20～11:40	ANJ	21	塗膜除去作業に関する分析，及び測定事例 ○後藤 聡 秋田環境測定センター(株)	
11:40～12:00	AN	22	半導体センサーを用いたばく露濃度測定 ○上野 浩 上野労働衛生コンサルタント(株)	
12:00～13:00	昼食・休憩			

※15. (公社)日本作業環境測定協会

16. (公財)神奈川県予防医学協会

17. 中央労働災害防止協会

時間	分類	番号	標題・演者・所属	座長 ^{※所属}
9:00～ 9:20	BK	17	個人サンプラーに用いる粉じん捕集フィルターの粒子捕集効率評価 ○山田 丸, 鷹屋光俊 (独)労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所	明星敏彦 ^{※18}
9:20～ 9:40	BK	18	位相差顕微鏡対物レンズ (DLL, DM, BM) を併用した位相差・分散顕微鏡によるアスベスト, RCF 分析時の観察精度向上について ○小西淑人, 小西雅史 (株)エフアンドエーテクノロジー研究所	
9:40～10:00	BK	19	イオン液体を用いた気中アスベスト濃度測定 (A-SEM 法) のフィルター試料の前処理方法 ○田吹光司郎, 河野光雄, 岡 光一 (一財)西日本産業衛生会 環境測定センター 大分事業部	
10:00～10:20	BK	20	溶接作業場の粉じん形状による成分の相違について (第 1 報) ○黒木孝一 ¹⁾ , 高田晃彦 ²⁾ ¹⁾ 黒木労働衛生コンサルタント事務所, ²⁾ 九州大学先端物質化学研究所	小西淑人 ^{※19}
10:20～10:40	BK	21	RCF 繊維のサイズがファイバーモニターF-1K 型を用いた測定に与える影響に関する研究 ○荒川大悟 ¹⁾ , 森田晶子 ¹⁾ , 霜村浩一 ²⁾ , 村田 克 ³⁾ , 戸塚優子 ⁴⁾ ¹⁾ 早稲田大学大学院創造理工学研究科, ²⁾ 柴田科学(株), ³⁾ 早稲田大学理工学術院, ⁴⁾ 日本高温断熱ウール工業会	
10:40～11:00	BK	22	炭素系ナノ材料の粒径分布と凝集状態の観察 ○小野真理子, 山田 丸 (独)労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所	
時間	内 容			
11:00～12:00	<p style="text-align: center;">【日本労働衛生工学会 基礎講座 2】</p> <p style="text-align: center;">作業環境マネジメント入門——マーケティングからコンサルティングまで——</p> <p style="text-align: center;">○田吹光司郎 ((一財)西日本産業衛生会 環境測定センター 大分事業部) ・ 司 会 : 高山 正 (高山産業衛生事務所)</p>			
12:00～13:00	昼食・休憩			

※18. 産業医科大学産業生態科学研究所

19. (株)エフアンドエーテクノロジー研究所

時間	分類	番号	標題・演者・所属	座長 ^{※所属}
13:00～13:20	ANJ (京葉 推薦)	23 支部 演題	法定対象物質以外の測定事例(定量的手法を用いたリスクアセスメント実施事例) ○喜多見大介, 渡部憲宏, 古川義幸, 津上昌平 ㈱日立産機ドライブ・ソリューションズ	内納大典 ^{※20}
13:20～13:40	AK	24	国連 GHS 勧告区分によるハザードバンドと職業性ばく露限界値の関係 ○中村桃華 ¹⁾ , 山本 忍 ^{2) 3)} , 原 邦夫 ⁴⁾ , 竹内靖人 ⁵⁾ , 石田 尾 徹 ²⁾ , 大庭彰吾 ¹⁾ , 樋上光雄 ²⁾ , 笛田由紀子 ²⁾ , 石松維世 ²⁾ , 市場正良 ³⁾ , 保利 一 ²⁾ ¹⁾ 産業医科大学産業保健学部環境マネジメント学科, ²⁾ 産業医科大学産業保健学部作業環境計測制御学講座, ³⁾ 佐賀大学医学部社会医学講座環境医学分野, ⁴⁾ 産業医科大学産業保健学部安全衛生マネジメント学講座, ⁵⁾ 中央労働災害防止協会 大阪労働衛生総合センター	
13:40～14:00	AN	25	実験室等におけるばく露推計モデルによるリスクアセスメントのための有機溶剤発生量の検討(第2報) ○牛澤浩一 ¹⁾ , 山田憲一 ²⁾ ¹⁾ (国研)理化学研究所, ²⁾ 中央労働災害防止協会	
14:00～14:20	AN	26	メタクリル酸のばく露濃度測定法の検討 ○小川善弘 ¹⁾ , 竹内靖人 ²⁾ , 中村亜衣 ³⁾ , 海福雄一郎 ³⁾ , 朝井大介 ⁴⁾ , 山室堅治 ⁴⁾ , 水沼一典 ¹⁾ ¹⁾ 中央労働災害防止協会 関東安全衛生サービスセンター, ²⁾ 中央労働災害防止協会 大阪労働衛生総合センター, ³⁾ ㈱ガステック, ⁴⁾ 中央労働災害防止協会 労働衛生調査分析センター	喜多見大介 ^{※21}
14:20～14:40	AN	27	MIBKの生物学的モニタリング結果から得られる作業者のばく露について ○大久保友太朗, 山川希恵, 川野智晃, 岡 光一, 田吹光司郎 (一財)西日本産業衛生会 環境測定センター 大分事業部	
14:40～15:00	AN	28	作業環境中メタクリル酸-2,3-エポキシプロピルの測定・分析法に関する検討 ○川澄八重子, 岡田孝之, 山室堅治, 川本俊弘 中央労働災害防止協会 労働衛生調査分析センター	
15:00～15:20	AN	29	1-ブロモプロパンの測定手法の開発 ○中島賢邦 (一財)上越環境科学センター	高島 強 ^{※22}
15:20～15:40	ANJ (東北 推薦)	30 支部 演題	作業環境改善事例—1-ブロモプロパン取扱い作業場及びピラクトリーセラミックファイバー取扱い作業場について— ○朝井大介, 中原将和, 澁谷紀宏, 小島将則 中央労働災害防止協会 東北安全衛生サービスセンター	
15:40～16:00	ANJ	31	同一粉じん作業場における長期にわたる作業環境改善とその効果について ○木水佳芳里, 塚本裕子, 本郷 貴, 吉田誠三 福井県環境保全協業組合	
16:00～16:20	AK	32	小型除じん装置の集じん性能測定の実験室での解析 ○明星敏彦 ¹⁾ , 大藪貴子 ¹⁾ , 筒井隆夫 ¹⁾ , 村田 克 ²⁾ , 名古屋俊士 ²⁾ ¹⁾ 産業医科大学産業生態科学研究所, ²⁾ 早稲田大学理工学術院	

※20. (一財)上越環境科学センター 21. ㈱日立産機ドライブ・ソリューションズ 22. 日重環境(株)

時間	分類	番号	標題・演者・所属	座長 ^{※所属}
13:00～13:20	BK	23	光散乱方式による粉じん相対濃度測定に及ぼす粗大粒子の影響 ○中村憲司 (独)労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所	村田 克 ^{※23}
13:20～13:40	BK	24	ITO ターゲット研削作業工程における個人曝露濃度測定方法の検討 ○小山武尊 ¹⁾ , 藤田ゆかり ¹⁾ , 石橋洋行 ¹⁾ , 中野真規子 ²⁾ , 田中昭代 ³⁾ , 平田美由紀 ³⁾ , 岩澤聡子 ⁴⁾ , 田中 茂 ⁵⁾ , 大前和幸 ²⁾ , 宮内博幸 ¹⁾ ¹⁾ 産業医科大学産業保健学部環境マネジメント学科, ²⁾ 慶應義塾大学医学部, ³⁾ 九州大学大学院医学研究院, ⁴⁾ 防衛医科大学校医学科, ⁵⁾ 十文字学園女子大学大学院	
13:40～14:00	BK	25	光触媒を溶射した吸着材による有機溶剤蒸気の吸着および分解特性 ○秋田 糧 ¹⁾ , 石田尾 徹 ¹⁾ , 樋上光雄 ¹⁾ , 山本 忍 ¹⁾ , 石松 維世 ¹⁾ , 笛田由紀子 ¹⁾ , 高島伽央里 ²⁾ , 山本清司 ²⁾ , 坂口昇平 ²⁾ , 保利 一 ¹⁾ ¹⁾ 産業医科大学産業保健学部環境マネジメント学科, ²⁾ ㈱フジコー技術センター	
14:00～14:20	BK	26	受動喫煙防止のための喫煙室改善について ○角田由紀, 横田直行, 中山 等, 松野博明 三井化学㈱大牟田工場	山田憲一 ^{※24}
14:20～14:40	BK	27	VDT 作業に対する対光反応解析装置等を用いた眼疲労の評価に関する研究 ○石橋洋行, 小山武尊, 藤田ゆかり, 三宅晋司, 宮内博幸 産業医科大学産業保健学部環境マネジメント学科	
14:40～15:00	BK	28	電子式 WBGT 測定器の JIS 規格化の経緯と、今後の課題 ○齊藤宏之 ¹⁾ , 澤田晋一 ²⁾ ¹⁾ (独)労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所, ²⁾ 東京福祉大学	
15:00～15:20	BK	29	シート状サンプラーを用いた作業時の保護手袋内濃度測定結果について ○藤田ゆかり, 石橋洋行, 小山武尊, 宮内博幸 産業医科大学産業保健学部環境マネジメント学科	伊藤昭好 ^{※25}
15:20～15:40	BK	30	有機溶剤取り扱い作業場における作業用保護手袋の着用に関する実態調査について ○秋野健一 ¹⁾ , 菊地友子 ¹⁾ , 長田 明 ¹⁾ , 田口信康 ¹⁾ , 田吹光司郎 ²⁾ ¹⁾ (一財)西日本産業衛生会 環境測定センター 北九州事業部, ²⁾ (一財)西日本産業衛生会 環境測定センター 大分事業部	
15:40～16:00	BK	31	熱線型半導体式 VOC モニタを用いた混合有機溶剤を取り扱う作業場での成分毎の蒸気濃度推定に関する検討(その1) ○吉栄康城 ¹⁾ , 伊藤達也 ¹⁾ , 中山綾香 ¹⁾ , 山田憲一 ²⁾ , 岡村真吾 ²⁾ ¹⁾ 新コスモス電機㈱, ²⁾ 中央労働災害防止協会	
16:00～16:20	BK	32	熱線型半導体式 VOC モニタを用いた混合有機溶剤を取り扱う作業場での成分毎の蒸気濃度推定に関する検討(その2) ○吉栄康城 ¹⁾ , 伊藤達也 ¹⁾ , 中山綾香 ¹⁾ , 山田憲一 ²⁾ , 岡村真吾 ²⁾ , 中家隆博 ³⁾ , 安田知恵 ³⁾ ¹⁾ 新コスモス電機㈱, ²⁾ 中央労働災害防止協会, ³⁾ 関西環境科学㈱	

※23. 早稲田大学理工学術院 24. 中央労働災害防止協会 25. 産業医科大学産業保健学部

展示会社と主な出展内容

(五十音順)

株式会社 アイデック

〒130-0026 東京都墨田区両国 4-38-3 第8高島ビル

TEL 03-5625-4294 FAX 03-5625-4295

担当者：田中進太郎

会員番号：513033・維持15

<http://www.ihdc.co.jp/>

出展内容 サンプルングポンプ
粉じん分粒機器
固体捕集管
パッシブサンプラー

秋田環境測定センター 株式会社

〒010-0943 秋田県秋田市川尻御休町 11-14

TEL 018-888-1991 FAX 018-864-1282

担当者：原子 正

会員番号：205001・一

<http://www.aksc.co.jp/>

出展内容 作業環境測定報告書作成システム、
環境計量証明システム

アゼアス 株式会社

〒111-8623 東京都台東区蔵前 4-13-7

TEL 03-3861-3537 FAX 03-3861-2485

担当者：福田義人

会員番号：一・維持19

<http://www.azearth.co.jp/>

出展内容 化学防護服等

株式会社 ウエスト

〒243-0211 神奈川県厚木市三田 3634-6

TEL 046-241-4642 FAX 046-241-5612

担当者：小西高之

会員番号：514052・一

<http://www.fanda-wesst.com/wesst/>

出展内容 アスベストの測定・分析に関わる
機器等

株式会社 エイビス

〒105-0014 東京都港区芝 3-3-14 ニットクビル 4F

TEL 03-5232-3678 FAX 03-5232-3679

担当者：中川祐菜

会員番号：544085・一

<https://www.aivs.co.jp/>

出展内容 環境検査システム

株式会社 ガステック

〒252-1195 神奈川県綾瀬市深谷中 8-8-6

TEL 0467-79-3911 FAX 0467-79-3979

担当者：宮腰義規

会員番号：514005・維持6

<http://www.gastec.co.jp/>

出展内容 検知管式気体測定器
自動ガス採取装置

興研 株式会社

〒102-8459 東京都千代田区四番町 7

TEL 03-5276-1931 FAX 03-3265-1976

担当者：中澤香織

会員番号：513003・維持3

<http://www.koken-ltd.co.jp/>

出展内容 呼吸用保護具類
マスクフィッティング測定サービス

光明理化学工業 株式会社

〒213-0006 神奈川県川崎市高津区下野毛 1-8-28

TEL 044-833-8900 FAX 044-833-2671

担当者：

会員番号：514017・維持5

<http://www.komyokk.co.jp/>

出展内容 北川式ガス検知器
ガス採取器
エアースAMPLINGポンプ

株式会社 重松製作所

〒114-0024 東京都北区西ヶ原 1-26-1
TEL 03-6903-7518 FAX 03-6903-7520
担当者：佐藤麻緒
会員番号：513002・維持 2
<http://www.sts-japan.com/>

出展内容 各種労働安全衛生保護具
防じんマスク・防毒マスク
電動ファン付き呼吸用保護具
防護服 等

篠原電機 株式会社

〒143-0011 東京都大田区大森本町 2-20-6
TEL 03-3767-9300 FAX 03-3767-9308
担当者：斎藤寛之
会員番号：一・維持 39
<http://www.shinohara-elec.co.jp/>

出展内容 ガス検知器

柴田科学 株式会社

〒340-0005 埼玉県草加市中根 1-1-62
TEL 048-933-1579 FAX 048-933-1590
担当者：佐藤 努
会員番号：511068・維持 4
<http://www.sibata.co.jp/>

出展内容 デジタル粉じん計 LD-5R 型
ミニポンプ MP-W5P 型
パーソナルミニポンプ PMP-001 型
ミニポンプ基準流量計 FC-M1 型

株式会社 島津製作所

〒101-8448 東京都千代田区神田錦町 1-3
TEL 03-3219-5631 FAX 03-3219-5520
担当者：
会員番号：513099・一
<http://www.shimadzu.co.jp/>

出展内容 ガスクロマトグラフや高速液体クロマト
グラフ等分析装置のパネルとカタログ

昭和電機 株式会社

〒920-0058 石川県金沢市示野中町 1-143
TEL 076-223-1122 FAX 076-223-1114
担当者：富村大智
会員番号：一・一
<http://www.showadenki.co.jp/>

出展内容 プッシュプル型換気装置（ダクトレス）

新コスモス電機 株式会社

〒532-0036 大阪府大阪市淀川区三津屋中 2-5-4
TEL 06-6309-1500 FAX 06-6303-1295
担当者：新井希美枝
会員番号：527019・維持 45
<http://www.new-cosmos.co.jp/>

出展内容 ・VOCリアルタイムモニタ XP-3120-V ・ポータ
ブルガス分析装置 XG-100 シリーズ ・オフセット
印刷工場用 VOC 警報器 XH-981G ・酸素計
XO-2200 ・マルチ型ガス検知器 XA-4400 II
・個人ばく露濃度計 XV-389

スリーエムジャパン 株式会社

〒252-5285 神奈川県相模原市中央区南橋本 3-8-8
TEL 042-779-2372 FAX 042-770-3565
担当者：傳田郁夫
会員番号：513022・維持 14
https://www.3mcompany.jp/3M/ja_JP/company-jp/

出展内容 パッシブサンプラー
個人用保護具
聴覚保護具

東京ダイレック 株式会社

〒160-0014 東京都新宿区内藤町 1 内藤町ビル 9F
TEL 03-5367-0891 FAX 03-5367-0892
担当者：内山裕哉
会員番号：513031・維持 12
<http://www.t-dylec.net/>

出展内容 粒子計測器

トランステック 株式会社

〒141-0022 東京都品川区東五反田 1-11-15 電波ビル 3F

TEL 03-5475-5656 FAX 03-5420-0510

担当者：荒井豊明

会員番号：一・維持 34

<http://www.transtech.co.jp/>

出展内容 マスクフィットテスター
粉じん計

株式会社 ニコンインステック

〒108-6290 東京都港区港南 2-15-3 品川インターシティ C 棟 23F

TEL 03-6433-3982 FAX 03-6433-3988

担当者：橋本雄一

会員番号：一・維持 36

<http://www.nikon-instruments.jp/jpn/>

出展内容 アスベスト測定用顕微鏡

日本カノマックス 株式会社

〒565-0805 大阪府吹田市清水 2-1

TEL 06-6877-0447 FAX 06-6877-8263

担当者：平松友子

会員番号：527016・一

<http://www.kanomax.co.jp/>

出展内容 風速計
粉じん計
サンプリングポンプ ほか

株式会社 日本ハイソフト

〒693-0037 島根県出雲市西新町 1-2548-7

TEL 0853-23-0098 FAX 0853-23-0115

担当者：三原充久

会員番号：一・維持 44

<http://www.jhsc.co.jp/>

出展内容 ソフトウェア
・化学物質のリスクアセスメントシステム
・ばく露の見える化ツール

ラボテック 株式会社

〒731-5128 広島県広島市佐伯区五日市中央 4-15-48

TEL 082-921-8840 FAX 082-921-2226

担当者：元木 宏

会員番号：234015・一

<http://www.labotec.co.jp/>

出展内容 ガスインジェクタまたは
ガスバッグ洗浄装置

理研計器 株式会社

〒174-8744 東京都板橋区小豆沢 2-7-6

TEL 03-3966-1117 FAX 03-3966-1030

担当者：寺内靖裕

会員番号：513100・一

<http://www.rikenkeiki.co.jp/>

出展内容 ポータブル PID 式モニター：Tiger
個人用 PID モニター：Cub
ポータブルマルチガスモニター：GX-6000
ホルムアルデヒドモニター：FP-31 ほか